

日時：2021年6月26日（土）10時00分～10時30分

形式：Zoom ミーティング（会長・副会長は来校）

1. 開会

会長より、以下の通り開会の挨拶があった。

「看護学科保護者会は設立からまだ3年と経験の少ない会ですが、温かく見守ってくださる保護者の方々と、教員の皆様に支えて頂いております。また設立時には同窓会看護学科支部より活動費をご支援賜り、予算の心配をせずに活動計画を出せるようになったこと、感謝申し上げます。今回の総会は保護者の皆様ときちんと対面で開催したかったのですが、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が続く現状について大学と役員間で検討した結果、昨年度同様に皆様から委任状をお預かりし、Zoom を用いた遠隔会議にて、役員と関連教職員のみで開催することになりました。」

また、203名から委任状の提出があり、会則の第8条4項の条件を満たし、総会が成立することを確認した。

2. 保護者会役員選任、監事（会計監査）選出について

資料1を元に2021年度の役員と会計監査が承認された。また監事を務める同窓会看護学科支部副支部長より、昨年度の病院支援への謝辞とともに、協力してできることがあればいつでも声をかけてほしい。同窓会も看護学科30周年に向けて大学に寄与できるよう活動していきたいとの挨拶があった。

3. 会長所信表明

「コロナ禍で制限される生活が長期に及ぶ中で、命に携わる医療関係者と共に、学生も命を守るために制限の多い生活だったことを保護者の方々も目にし、様々なことを感じられたことと思います。コロナは、多くの人の命を奪いますが、人とのコミュニケーションも奪っていく事、人との距離や会話を奪うウイルスでもあると思います。コロナの影響で社会的距離を保たなければならないことで、見えない絆が立ち消えることのないようにしていきたいと思っています。保護者会設立の初年度は初代会長から「身の丈にあった活動」、2年目には前会長から「できることからコツコツと」との所信表明がありました。今年度は、設立に関わった役員がいる最後の年です。設立目的である保護者間、保護者と教職員との相互交流を深め、情報共有をするとともに、手を携えて学生たちの学生生活や学習環境をより良いものとするため、大学と保護者のパイプ役に努めていきたいと思っています。保護者会連絡網は、以前から導入の検討をしてきましたが、昨年度、1度目の緊急事態宣言下に、保護者からの意見・ニーズを把握することと、大学・学科から配信される内容をタイムリーにお手元に届ける事を目的として、Gmailアドレスを利用して急ぎよりました。大学と保護者間の連絡ツールを増やし、予測できない災害などに対応できる様にです。現在、保護者会連絡網はZoomに移行し運用を開始しております。今年度は、保護者会連絡網の整理だけでなく、役員の仕事マニュアル化して来年度の役員が負担なく行える様にしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。」

4. 2020年度保護者会活動報告

会長より、2020年度の主な活動について以下の通り報告があった。

- ・4月 入学式が中止となり登校機会のない1年生が不安に感じているだろうことから、入学祝として用意してあった体温計を急ぎよ郵送でお届けした。
- ・4~5月 保護者会連絡網を構築し運用を開始した。連絡網を通して2年生保護者より相談を受け、大学に陳情を行った。
- ・5月 本院と第三病院の医療従事者へ支援品と寄せ書きを進呈した。
- ・7月 役員と関連教職員による総会を開催した。
- ・8月 看護への思いを新たにす式で、2年生に記念品としてナースウォッチを贈呈した。
- ・11月 Zoomを利用して学年毎の保護者懇親会を開催した。学年担当教員にも参加いただき、学生の様子を

お知らせいただいた。また保護者同士の交流、情報交換を行った。

- ・12月 3年生に対し、国家試験模試受験料を援助した。
- ・3月 4年生に卒業記念品として慈恵サポール2本組を贈呈した。また卒業式で1名に保護者会賞を授与した。

5. 2020年度収支報告

会計担当理事より、資料2を元に2020年度の収支について説明があった。また、2020年度会計監査が収支に誤りがないことを確認しているとの報告があり、承認された。

6. 2021年度保護者会活動計画について

会長より、資料3-1を元に2021年度の活動計画について以下の通り説明があった。

- ・学生への支援について、1年生にはすでに体温計を入学祝いとして贈呈している。2・3年生への支援は昨年度と同様に行う。4年生への卒業記念品の内容は検討中である。
- ・保護者・教職員との交流について、懇親会を11月に対面で開催することを検討しているが、今後のコロナの状況を注視してどのような開催方法がよいか、大学と相談しながら決めたいと考えている。
- ・保護者会連絡網のマチミへの移行後、すでに10回配信を行っている。今後は新しく開設する保護者会ホームページと連動して配信を継続する予定である。
- ・連絡網を通して保護者から寄せられた相談や意見は、個人情報扱いに注意して丁寧に扱っていく。
- ・保護者会運営に関する事項について、第30期入学生全員から会費を納入いただいた。会費は予算案に則って使用する。また保護者会専用封筒を補充購入する予定である。
- ・COVID-19対応として、本院と第三病院に消毒液、ホテイス、マスクと保護者からの寄せ書きを進呈する。また、コロナ禍で気持ちの落ち込んでいる学生に対してどんな支援ができるか、大学と相談して進めていきたい。

7. 2021年度予算案について

会計担当理事より、資料3-2を元に2021年度の予算について説明があった。会長より「会議費」の予算額が昨年度の決算額に対して大きいことについて、昨年度は全ての役員会議をZoomで行ったため役員交通費がかからなかったが、本年度は可能な限り対面での会議を予定しているため、予算を多めに取っているとの補足説明があった。審議の結果、予算案が承認された。

8. 2022年度会長職について

会長より、会長の任期は会則の第7条5項に基づき4月から翌年3月までの1年である。2022年4月から総会が開催される6月まで会長のいない期間を作らないために、2021年度副会長が2022年度会長を務めることを認めてもらいたいとの提案があり、審議の結果、承認された。副会長より、会長職は大きな役目で不安もあるが、役員と協力して、学生・保護者・大学の間のパイ役としてできることから進められるよう、微力ながら務めさせていただくとの挨拶があった。

9. 保護者会連絡網の移行について

会長より、移行の経緯と今後の方針について説明があった。

Gmailアドレスを利用した連絡網ではセキュリティを入れて対応していたが、アドレスを手入力する手間が大きく、また誤配信の可能性もあった。役員間で検討し、管理者でも登録者の個人情報を見ることのできない設定ができ、誤配信も防げる無料の連絡網システム「マチミ」に移行することを決定した。容量の大きいデータは保護者会ホームページに掲載し、マチミに掲載情報をお知らせする形で運用する。なおGmailアドレスは保護者会の窓口として残すので活用いただきたい。またGmail連絡網の送信先としてお預かりしている保護者のアドレスはマチミへの登録が確認できた方から削除する予定である。

10. 大学ホームページ内での保護者ページの開設について

会長より、資料4の通り大学ホームページ内での保護者ページの開設に向けて準備中である。掲載は学事課を通して大学広報課に行っていただく。どのような情報を掲載するか、役員間で話し合っ進めていくが、まずは総会の報告から運用を開始する予定である。準備が整い次第マチミ連絡網で周知する、との報告があった。

11. 閉会

会長より、「病院支援のメッセージ」を保護者から寄せていただいた中で、「学生の夢」という言葉が印象に残った。保護者会として学生の夢を大学とともに応援できるような活動をしていきたいので、1年間ご協力よろしくお願ひします」との挨拶があり、総会を閉会した。

以上